

報告事項 No. 1

会議録

会議の名称	令和7年度第2回守谷市保健福祉審議会地域包括ケアシステム分科会	
開催日時	令和7年10月30日(木)午前10:00～午前11:20	
開催場所	守谷市役所3階庁議室	
所管課	健幸福祉部 健幸長寿課・介護福祉課	
出席者	委員	田中分科会長、小川委員、玉置委員、寺田委員、石井委員 計5名
	その他	地域計画株式会社 福田氏
	事務局	健幸長寿課 森山次長兼課長、宮下係長、滝本係長 介護福祉課 前川次長兼課長、澤辺係長、佐藤係長

審議経過

(1) 計画策定に向けた各種調査、スケジュールについて

第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に向けた目的、位置付け及び計画期間を説明し、今後実施する各種調査の概要を報告した。

【意見】

- ・ 今回の資料の中で、同じ対象者であるにも関わらず、基準日と人数の異なる箇所がある。
→対象者の考え方に相違はないが、資料ごとに記載された基準日と人数に相違があり、誤解を生じさせてしまった点をお詫びした。

(2) 守谷市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について説明。65歳以上で要介護認定を受けていない方が対象。設問は国が案を示し定める必須項目と選択可能なオプション項目、市独自の項目で構成されている。市独自項目は今後の取組に活用するために設定した。回答者の負担軽減のため設問数を考慮した。WEB調査が可能か確認中。

【主な意見】

- ・ 国の必須項目の設問や選択肢が分かりにくく、言い回しが高圧的と感ずるため修正できるか。
→他の保険者との比較ができなくなるため、文言はそのまま使用することになっている。
- ・ 市独自項目は、優しく分かりやすい表現に変更すること。
- ・ 地域活動の選択肢にシニアクラブやシルバーリハビリ体操等の市独自の活動の名称があるが、参加者が多いラジオ体操等も追加してはどうか。
→追加する。
- ・ 以前の調査から継続している調査項目は、事業の効果に関する検証を行うことが可能になるため重要である。
- ・ 個人の心配ごとの相談を自由に記述できる欄を設定したことは好ましい。

(3) 守谷市在宅生活改善調査、居所変更実態調査、介護人材実態調査について

国の指示する調査方法により3つの調査を実施することを説明。在宅生活改善調査は在宅生活を続けるにはどのようなサービスが必要かを見極めるもの、居所変更実態調査は施設での生活を継続していくために必要なサービスの方向性を検討するもの、介護人材実態調査は、

市としてどの部分の介護人材を支援していくべきかを検討するもの。

【意見】

- ・ 軽費老人ホームは市内にはないが調査票に記載がある。
→市内にはない事業所だが、対象事業所として掲載している。記載要領は市独自で見やすくなるように工夫している。
- ・ 職員が多い施設は、調査票が不足することが考えられる。
→調査票は郵送にするが、御要望があれば、メールでデータを送ることもできる。

(4)その他

なし

※ 次回開催：令和8年3月開催予定。日程決定次第開催する。